

平成30年第1回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

1 開催日時

平成30年1月11日（木）15時03分から15時50分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

清家渉、久保田誠二、宮本美代子、前田恵理、木下比奈子、
城戸秀明（教育長）

4 欠席委員

なし

5 出席事務局職員

教育次長 吉田法稔、理事 松尾圭子、総務部長 辰田一郎、
教育企画部長 木原茂、教育振興部長 原田靖、総務課長 日高公徳、
財務課長 山口洋志、文化財保護課長 井手優二、企画調整課長 高田裕康、
社会教育課長 谷本理佐、教職員課長 平川真一、施設課長 松永一雄、
高校教育課長 相原康人、義務教育課長 田中直喜、
人権同和教育課長 木下尊雅、体育スポーツ健康課長 寺崎雅巳

6 傍聴者等数

1名

7 会議

15時03分、清家委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

第1号議案「平成29年度福岡県教育文化表彰について」は、久保田委員から、個人及び団体の顕彰に関する案件のため非公開とする発議があり、直ちに採決され、出席委員の3分の2以上の賛成をもって非公開と決定された。

その他の議題については、非公開の発議なく公開と決定された。

（1）その他

- ・12月定例県議会について

城戸教育長から、12月定例県議会における教育委員会関連の代表質

問及び一般質問に対する以下の答弁要旨について説明があった。

(代表質問)

- ・学校の職場環境の改善及び教員の意識改革について
- ・今後の教員研修の改善について、力量のある講師の確保について
- ・「英語の大学入試改革」への県教育委員会の認識について
- ・本県高校生の英語力向上への対応について
- ・小学校におけるむし歯予防の取り組みの成果と課題について
- ・緊急提言及び長時間労働の実態について
- ・教職員の勤務時間を管理する責務について
- ・北九州市の取り組みの評価及び勤務時間の把握を行うシステムの導入について
- ・留守番電話のニーズ把握及び時間外における問合せ対応について
- ・勤務時間外の電話を転送することによる教員の負担軽減について
- ・給食費の公会計制度の導入等に係る県教育委員会としての提言について
- ・教員の業務アシスタント制度について
- ・県教育委員会と学習支援センターとの協定締結について
- ・朝食を食べていない児童の割合とその対策について
- ・本県の教員勤務実態調査結果について
- ・専門スタッフの配置状況と成果について
- ・他県で実施されている教員改革の取り組みについて
- ・いじめ問題への対応の見直しについて 等

(一般質問)

- ・本県の公立小・中学校の廃校数と廃校施設の活用状況及び活用されていない理由について
- ・県立高校における通級指導の実施状況について
- ・特別な支援を必要とする生徒の進路等について
- ・サポートノートによる引継状況について
- ・大学や就職先に引き継がれたケースについて
- ・県立高校入学者選抜において特別な配慮を行った人数について
- ・高等学校での特別支援教育の取り組みについて
- ・田川地区における福岡県立大学の附属中高一貫校の設置について 等

次いで、清家委員長から、むし歯対策について、質問の意図について質問があった。

これに対して、城戸教育長から、フッ化物洗口はむし歯対策として必ずしも世界的な主流ではないとの観点から質問をしているとの説明があった。

次いで、宮本委員から、本年7月に設置された教職員の働き方改革について検討する組織の構成員について質問があった。

これに対して、平川教職員課長から、教育次長をトップに、教職員課、高校教育課、義務教育課、体育スポーツ健康課などの本庁関係課で構成しているとの説明があった。

次いで、宮本委員から、給食費を公会計化し、自治体で徴収事務や未納対応を行っている市町村数と、その市町村に地域的な偏りはあるか質問があった。

これに対して、寺崎体育スポーツ健康課長から、自治体による給食費徴収事務は県内10市町で行われており、地域的な偏りはないとの説明があった。

公開審議はここまでとされ、清家委員長から、傍聴人に対して退出が求められた。以後非公開にて審議を行う。

(2) 議事

・第1号議案 平成29年度福岡県教育文化表彰について

日高総務課長から、前回の教育委員会会議における協議内容を踏まえ、福岡県教育委員会表彰規則に基づき、受賞者を決定するものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第1号議案は原案どおり可決された。

清家委員長が閉会を宣言し、15時50分閉会した。